

# 令和6年度 第3回学校運営協議会 議事録

令和7年1月30日(水)13:30~15:00  
千塚小学校 ランチルーム  
進行：教頭 記録：教務主任

委員) [REDACTED] 様 [REDACTED] 様 [REDACTED] 様 [REDACTED] 様  
参加) 教頭 教務主任 校長 8人出席

※ 移動図書館あじさい号見学

1 会長挨拶

2 校長挨拶

3 本日の日程確認

4 協議 [議事進行：会長]

(1) 令和6年度学校評価まとめ (教頭)

○学校評価アンケートについて

○学校評価に関する学校関係者評価について

([REDACTED] 委員) インターネット・スマホ・ゲームの過度な使用の話題が出る。国によっては、SNSの規制をしているところもある。強制して使用を規制するのは難しいが、何かしら取り組んでいかないといけない。年1回の研修だけでは足りないので、先生をはるかに超えて、子ども達は使いこなしている。市であったり、小中連携であったりの中していくとか、対策や方針が出てこないのかと心配になっている。

→中学校でも、1年生を中心に指導をしている。千塚小でも親子活動で5年生に位置付けて実施した。今後、日常レベルに落とし込んだ、月1程度の情報モラルに関する短時間（5～10分程度）の教材を用いた指導をやっていきたい。動画等を見ることにより、より実態に伴った指導となってゆくのではないか。市内でも取り組んでいる学校もある。現実的なところでは、トラブルがあった際に、関わった学年に対して指導をしている。

([REDACTED] 委員) 子供のスマホ所持率や利用率、怖い思いをしたことがあるなどの実態調査を充実したらどうか。実態があつての対策が重要。どういう風に日常的に対策していくのか、考えていくことが大切。ダメではなく、良い使い方を学ばせていくために、子供の実態をきちんと知っていくことが大切である。

→授業の方法自体が大きく変化しつつある。児童のほうが詳しいこともある。授業づくり、学び等は、過渡期である。令和8年度から、GIGAタブレットが新しくなる。OSがChromeになる。資料もタブレットをもって、となると、タブレットで見やすい資料作りが求められてくるかもしれない。2～3年後には大きく変わってくるかも。

([REDACTED]) 大人のほうがついていけない。基本的な学習態度が大切。それができて、ICTを使用していったほうが、効果が上がる。トラクターの運転においては、今は運転が自動化されているが、衛星が切れたときには基本が分かっていない人は運転できない。だから、基本が大切なのでは、学校に関しても、基本的な学習態度を教えてい

くことが大切。基本的なものがわかつていないと、ＩＣＴも使えない。ＩＣＴに特化していくことに、心配をしている。あくまでプラスアルファとしての授業を行つてもらいたい。

→発達段階に応じた指導が必要である。まず、アナログ的な指導が中心となるが、ＩTC機器の効果的な活用についても併せて行って行く必要がある。

(■■■)

最近の傾向は行き過ぎていると感じる。先生たちがやらなくてはいけないことなのか。学校はサービス業なのか？そこまで本当にやる必要があるのか？これは、家庭での役割であると学校がいってもよいのではないか。何に使っているのか、子供たちから教えてもらって、使い方について学習していく必要性もあるのでは。

→学校としては、はっきりと言いにくい時代である。ここまでできるが、ここまでできないという役割分担が必要だと考える。

## (2) 令和6年度小中一貫教育のまとめ

○吹上ブロック評価報告書

(■■■)

小中一貫教育は何年前から？ →13～14年前

→義務教育9年間の中で、地域の子どもたちを小学校ではこのように、中学校ではこういうふうに、重点的に取り組み指導していくことを話し合って決めてきたもの。

→6年生が中学校に行ったときのギャップがないように、小学校のうちから中学校とつながりがあるとよいのではないかと考えて行っている。12月の説明会の時に、中学校で体験授業を行った。

→6年生に中学校の先生が授業を行っている。ここ数年は、英語の授業をやってもらい、中学校の授業はこんな感じなのかなというのを、体験している。

(■■■)

吹上ブロックと寺尾や皆川ブロックでは、統一的なものはあるのか。

→小小連携については、現在は吹上ブロックだけになっている。北中に向けた交流を図って行きましょうという計画になっている。

→4校全部での英語でのオンライン交流を予定している。学校間でお互いにやりとりをしようかなということで準備している。

→学校ごとのカラーがあり個性はあるが、共有できるのは共有することができたらすごく良いと思う。

(■■■)

現在、吹上中の成績はよい。授業のやり方を改善してきている。しかし、挨拶はしない子も増えている。

→授業の改善が進んでいること。退勤時刻も早くなっている。

## (3) 令和7年度学校経営方針（案）

(■■■委員)

多様な他者とは、具体的にどのあたりの人を想定しているのか。

→クラスの友達、学年ブロック、ワールドグループ、様々なゲストティーチャー、地域の方々など様々な立場の方からご指導いただきたいと考えている。

(■ 委員)

困り感のある児童とは、どのような児童か。

→授業をやっていて集中が切れてしまう児童や気持ちが乗らない児童、自分から積極的に授業に入っていけない児童などを困り感だという風に捉えている。どんな形にしていけばみんなと一緒にやっていけるのか、その方法を考え、一人一人に応じた手立てを講じていくということです。

(■ 委員)

保護者とは、連携して取り組んでいるのか。

→困り感の度合いにもよるが、保護者と困り感について共有し、一緒に確認しながら同じ方向で指導していくように取り組んでいる。

(■ )

授業で子どもたちのレベルに応じた指導が大切というが、課題を作成するのにAIを使用しているのか。

→栃木市は、AI導入に対して慎重である。年末に文科省から指針が出ている。その中で、小学生だけで使用することは推奨していない。家庭で使う場合は保護者と一緒に、先生と一緒に使う場合は授業の中では使用してよいということになっている。使うことは問題ない。使用する場合は、個人情報の入力をしないなどの注意がある。5年生が授業で実際に使ってみたところ、教科書の文章を入れると、教科書と同じ絵ができるということがあった。ちょっと言葉が違うと、違う写真というか違う画像が出てくるということを少しずつやってみたいという話があった。まだ、先生たちはテストを作ることは行っていない。具体的にAIを使うことに対しては、どう質問をするかによる。細かい質問をすると、そのリクエストに応じた回答が返ってくるという感じ。

(■ )

教育委員会の他にも、民間のAIを扱う会社としての連携があれば、業務を楽にするような使い方、システムを考えていっていければよいのでは。

地域の高富士山のお祭りや、宮スケートなど、身近にある教育財産を使って、地域にある学校を目指してほしい。

(■ 委員)

親に学習帳を作ってもらって、毎日問題を作ってとくという学校がある。毎日では苦しいが、親を家庭学習に巻き込むということも良いのでは。本校で取り組んでいる親子読書も、家と一緒に親子でしましょうというの巻き込んでいる活動では。

→家読がずっと続いているのは、とても良いことだと思う。自主学習についても、毎日の宿題の他に出していることでもあり、丸付けなどで親子の交流になっているという側面もあると思う。

(■ 委員)

今の子供たちには、自治力の育成ということは大切であると感じる。外国の学校では、意見が対立してもより良い方向性を探っていくことがある。でも話し合いが終わったら、さっぱりしている。お互いによりよい方向に導くために話すことを大切にしていく、集団形成もできると思う。クラスだけだとよいモデルがなかなかない。よいモデルを示しながら、よりよい話し合いができるようにしていくと良い。

→自治力について先生方、児童の中での共有を図り、係活動や話し合いの工夫をしたり、自治力振り返りカードの記入をしたりしている。学期の終わりに自治力大賞を選考し、繰り返し行っていく中で、子供たちが自治力についてのイメージが持てるようになるとを考えている。

(■ 委員)	自治力大賞の決め方はどのようなものか。
	→担任の先生の日頃の見取りや振り返りカードから候補者を選んでもらい、みんな集まったところで他の先生方の意見をもらい決めていく。個人のものもあるし、委員会や登校班、学級などもある。選ばれた根拠も示している。
	→賞状にも、理由の文言を記入し、渡している。
(■ 委員)	先日のスケート場での感想であるが、千塚小は皆、行儀がよかつた。先日、城東小6年が来た際、地域の人たちへの挨拶から最後の挨拶まで、自分達で行っていた。千塚小でもできると思うので、ぜひ行って欲しい。スケート靴の貸し出し業務などサポートの方々も、「割と楽だったのではないか」などの声も上がった。千塚小でもできるのではないか。
(■ 委員)	年少・年中の世代から取り組んでいる幼稚園もある。技能的な問題。意図的に行わせていくことも。挨拶もずっと取り組んでいけばできるようになる。そういう部分も必要か。
(■ 会長)	職場のそばの子供たちは、挨拶ができない。毎朝交差点を渡らせててくれている人がいるが、知り合いではないからか、挨拶しない。知り合いの人にはできているのかもしれないが。
	→児童の特性、状況にもよるが、いつでも、誰にでも挨拶をしてよいかという難しさもある。

#### (4) 令和7年度学校行事予定（案）

##### (5) 今年度の取組より

- とちぎ未来アシストネット
- 危機管理（安全教育、不祥事防止）
- いじめ防止基本方針

##### (6) 令和7年度学校運営協議会の組織、日程（案）等

##### (7) ご意見等

#### 6 事務連絡

- 第2回議事録の確認を
- 塗魂ペインターズ（ボランティア塗装活動）の実施について
  - ・午前中15名、午後13名（参加児童）、保護者も参加
- R6卒業式の案内
  - ・来賓として参加の検討を
- R7第1回学校運営協議会 令和7年4月25日（金）13:30～15:00